

MUSICNOMAD™

EQUIPMENT CARE



簡単調整、セットアップKISS™
精密ゲージ&ツール付き

MUSICNOMAD

2年間にわたる研究開発、さらにGeoff Luttrell氏をはじめとするトップクラスのリペアマンとの共同研究により、MusicNomadは「簡単調整、セットアップKISS™」を開発しました。革新的な精密ゲージとツールを開発することによってギターのチューンナップが簡単にできるようになりました。誰にでもわかるステップバイステップの指南書をもとに、お使いのギターをプレーしやすく、より良い音が出るように調整することができます。もちろん、調整後に熟練のリペアマンがさらに手を加えることもできます。当社開発のKISSメソッドとゲージを使えば、ご自分のギターの問題点を確認して、オリジナルのセットアップを実現することができます。オリジナルのセットアップができるのは楽しみでもあり、適切なセットアップをすることによって、演奏もサウンドも格段に良くなります。

Rand Rognlien、創業者／オーナー

GEOFF LUTTRELL

2001年のオープン以来、サンフランシスコギターワークスとソノマカウンティギターワークスの2店舗であらゆる種類のギターに対して様々な調整を施してきました。ギターのセットアップ技術を習得後、様々なギター修理クラスで教えてきました。またギター調整やメンテナンスのワークショップを通して、さまざまな能力を持つ、数えきれないほどのプレイヤーを指導してきました。誰にでもギター調整ができることを目標に、MusicNomadと共同研究することによって、シンプルな調整方法を開発することができました。この方法によって演奏もサウンドも格段に改善することができます。ご自身のギターを調整する方法を学ぶことによって、音楽との新しい関わりが生まれるはずで、これからもずっと音楽を楽しんでいただければ幸いです。

Geoff Luttrell、マスターギターテクニシャン

個別調整可能なサドル

ほとんどのFENDER®トレモロブリッジおよびFLOYD ROSE®以外のスクリューで調整するほとんどのトレモロブリッジ

セットアップの準備23

トラスロッド 4-7

弦高 8-11

弦高ラディアス 12-13

ナットの高さ 14-17

イントネーション 18-19

ピックアップの高さ 20-21

固定ラディアスブリッジ

GIBSON® TUNE-O-MATIC®および固定ラディアスをファイリングで調整するブリッジ

セットアップの準備23

トラスロッド 4-7

弦高ラディアス 12-13

弦高 8-11

ナットの高さ 14-17

イントネーション 18-19

ピックアップの高さ 20-21

トラスロッドゲージの使い方

- ① ピックカポでローEの弦を第1フレットに押し当てます。さらに、ピックカポをAの弦の下を通して、ローEとDの弦の上に乘せます。
- ② ご自身のギターに最適なサイズのフィーラーゲージを選びます。
- ③ チューニングしたギターを演奏時のように構えます。
- ④ 12フレット目でローEの弦を指で押さえます。
- ⑤ 6フレット目とローEの弦の間にゲージをゆっくりと差し入れ、タッチルール*を実行します。
*トラスロッドの調整方法は次のページをご覧ください。



トラスロッドの調整方法

- 1 タッチルールを実行します。
フレット上のゲージがローEの弦に触れていない - トラスロッドのナットを時計回りに回します。
フレット上のゲージがローEの弦に強く触れている、または押し上げている - トラスロッドのナットを反時計回りに回します。
フレット上のゲージがローEの弦に軽く触れている - 完璧です!調整不要です。
- 2 適切なサイズのトラスロッドレンチを選びます。必要に応じて Trussrodwrench.com をご覧ください。75以上のメーカーのトラスロッドレンチサイズがリストアップされています。
- 3 トラスロッドのナットを回す際は、レンチがナットに十分にはまっていることを確認してください。ナットは一度に一周の1/8ずつ正しい方向に回してください。回しすぎてはいけません。ナットが回らなくなったと思ったら、反時計回りに回して少しゆるめてください。
- 4 トラスロッドゲージの使用手順を繰り返して調整を確認します。タッチが軽くなるまで調整してください。



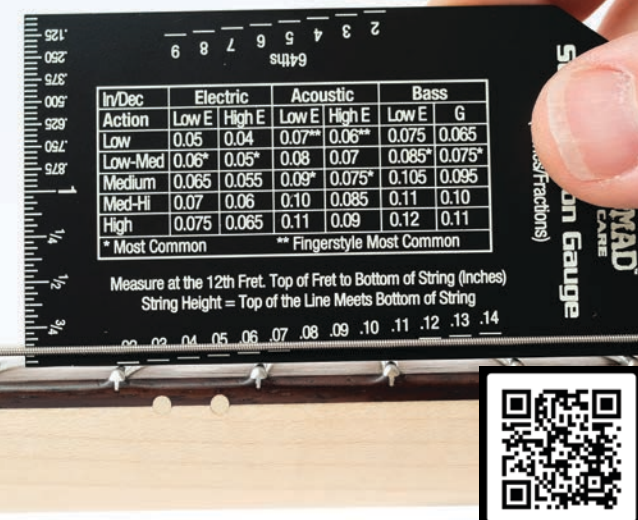
ハウツービデオ

詳細およびハウツービデオに関しては、MusicNomadCare.com をご覧ください。

11ピース入りMusicNomad トラスロッドレンチセット



弦高チェックゲージの使い方



ハウツービデオ

- 1 チューニングしたギターを演奏時のように構えます。
- 2 ピックカポでローEの弦を第1フレットに押し当てます。弦高チェックゲージを12フレット目でローEの弦の後ろに置きます。
- 3 弦下の弦高測定ラインを見て、弦の一番下と一致するラインを確認します。
- 4 ゲージに記載されたチャートを確認し、ご自身のギターに最も適した値を選びます。
*当てはまる値がない場合は、次のページを参照し弦高を調整してください。
- 5 ギターの場合はハイEの弦に対して、ベースの場合はGの弦に対して上記の手順を実施してください。

弦高の調整方法

アジャスタブルなサドルの場合

- 1 調整するギターのサドル高調整ネジに適したサイズのツールを選びます。2つのネジを右に回してサドルを上げるか、または左に回してサドルを下げます。ブリッジプレートと同じ高さになるようにサドル高を調整してください。
- 2 最も適切な高さになるまで弦高チェックゲージの使用手順を繰り返して調整結果を確認します。次のステップで弦高ラディアスを設定する前に、外側の2つのサドルを調整して弦高を修正します。

アコースティックギターに多い固定サドルでの弦高を下げるには

- 1 MusicNomadCare.com/Setup-Hubにアクセスして、「アコースティックギターに多い固定サドルでの弦高を下げるには」というビデオを参照してください。

TUNE-O-MATIC®での弦高調整

注意: 弦高ラディアスを設定した後に実施してください。

- 1 ラディアスを適切に設定した後、ブリッジが乗っているアジャスターを左に回してブリッジを上げるか右に回して下げます。指で回せるサムホイールがついているものや、棒の上部にマイナスドライバー用の溝が切られているものもあります。アジャスターを上げ下げして、弦高チェックゲージ上の最も適切な値に弦高を設定します。



ハウツービデオ

詳細およびハウツービデオに関しては、MusicNomadCare.comをご覧ください。



26ピース入りMusicNomad ドライバー&レンチセット

ラディアスゲージの使い方

- 1 まず初めに、指板のラディアスを確認してください。弦高ラディアスは指板ラディアスと一致しなければなりません。弦をすべて外し、ラディアスゲージを使って最終フレットで指板を測定し、指板ラディアスを確認します。または、MusicNomadCare.com/Setup-Hubにアクセスして、ブランド別のラディアスリストで確認します。ラディアスゲージを指板にあてた時に途中で揺れたり、両端に渡った時に真ん中に空間ができたりせず、完全にフィットすれば正確なラディアスが得られます。弦高ラディアスも同じように測定します。

ブリッジラディアスの調整方法

アジャスタブルなサドルの場合

- 1 最後の手順で外側の2つの弦高を設定しました。今度は、指板ラディアスに一致するラディアスゲージを使って内側の弦高を設定します。サドルの手前約1/4インチにある弦の上にゲージをセットします。すべての弦がゲージに触れるように内側のサドルを調整します。

TUNE-O-MATIC®またはその他の固定ラディアスブリッジの場合

- 1 P.17を参照して適切なサイズのファイルを選びます。
- 2 指板ラディアスにマッチするゲージを選んで、すべての弦がゲージに触れるようにサドルをファイリングします。一番高い弦からファイリングしていきます。ブリッジの後ろ側に対して幾分下向きの角度で、ファイリングします。慎重にゆっくりとファイリングします。ファイリングしすぎると、他のすべてのサドルを調整し直さなければなりません。サドルによっては低すぎて完全なラディアスを得られないかもしれません。その場合はブリッジを交換してみてください。



ハウツービデオ

詳細およびハウツービデオに関しては、MusicNomadCare.comをご覧ください。



ナットハイトゲージの使い方



ハウツービデオ

- ① 測定する弦に適したゲージを選びます。一般に、ロー弦から順に測定していきます。
- ② チューニングしたギターを演奏時のように構えます。
- ③ 弦と第1フレットの間にゲージを滑り込ませて、タッチルールを実行します。
 フレット上のゲージが弦に触れている／弦を押し上げているが、開放弦は音を立てていない - 以降の作業不要。
 フレット上のゲージが弦に触れていない - ナットスロットをファイリングして弦高を下げてください(次ページ参照)。
 *ゲージが弦に触れ、開放弦が音を立っている場合、ナットを交換するかナットスロットをファイリングする必要があります。[MusicNomadCare.com](https://www.musicnomadcare.com)でナットスロットファイリングのハウツービデオをご覧ください。
- ④ 上記の手順をそれぞれの弦に実施します。

注意 - ナット高を推奨値に設定すると楽器の状態が良くなりますが、低めの弦高やピックアタックの強めの演奏を望む人のために小さめのゲージと大きめのゲージも取り揃えてあります。少しずつ、いろいろ試してください。ご自身の演奏スタイルに合ったセットアップを見つけてください。

ナットのファイリング方法

適切なサイズのファイルを選択する

普通、ファイルは弦と同じサイズです。大きくてもその差はせいぜい0.003インチ以下です。言い換えれば、0.046インチのローEの弦の場合、最大0.049インチのファイルを使用します。それ以上大きいファイルを使用すると、スロットが大きくなり、弦がスロット内で振動し、うなり音が発生します。弦より小さいファイルを使用すると、スロットがタイトになりすぎ、チューニング時に問題が生じます。

- ① 必要なサイズのナットファイルを選びます。
- ② 弦を緩めナットスロットから取り出します。
- ③ ヘッドストックに対して幾分下向きの角度でナットファイルをナットスロットに差し入れます(写真参照)。
- ④ ファイルを5回ほど前後に軽くスライドさせます。
- ⑤ スロットに息を吹きかけて削りカスを取り除きます。
- ⑥ 弦をスロットに戻し、高さを再調整し、確認します。

アドバイス1 - 鉛筆でスロットの底を黒塗りにすると、削りカスが取れたかわかります。**アドバイス2** - ナット高を設定した後、弦が接触する箇所にMusicNomad TUNE-IT潤滑油を塗布します。



ハウツービデオ

詳細およびハウツービデオに関しては、MusicNomadCare.comをご覧ください。



イントネーションを調整するということは、フレットで発せられる音と開放弦を調和させることです。アコースティックギターの場合、この方法でイントネーションを確認することができますが、イントネーションの調整は複雑なので、経験豊富なリペアショップに依頼することをお勧めします。

- 1 調整する弦をしっかりとチューニングします。12フレット目で弦を指で押さえ、音を鳴らします。音がきれいに鳴る場合は調整不要です。次の弦に進みます。
- 2 音がフラットになる場合、サドル調整ネジを回してサドルを前方に移動させます。シャープになる場合はサドルを後方に移動させます。
- 3 サドルを移動させた後は、上記ステップ1を実行します。開放弦もしっかりチューニングしてください。

アドバイス - ハイポジションで演奏するときは、17フレット目でもイントネーションを確認してください。12フレット目では完璧でも、17フレット目では音が外れることがあります。両方の音をできるだけ続けて鳴らして、必要に応じて折り合いをつけてください。サドル当たり2弦の楽器の場合、例えば、3サドルのTELECASTER®の場合、一方の弦はシャープに、もう一方の弦をフラットにしなければならないこともあります。

詳細およびハウツービデオに関しては、MusicNomadCare.comをご覧ください。



ピックアップ高の調整方法

標準的な設定とより詳しく設定するためのアドバイスを以下に紹介します。

- ① 外側の弦をピックアップに一番近いフレットに押し付けます。お手元の弦高チェックゲージ(写真参照)上のピックアップ高スケールを使って、ピックアップの高さを以下のように弦の一番下からの距離に合わせます。ピックアップを上げ下げする取り付けネジを回してピックアップの高さを調節します。

STRAT® - 3/32":低音側、1/16":高音側、すべてのピックアップ

HUMBUCKER® - 1/16":ブリッジピックアップ、3/32":ネックピックアップ

TELECASTER® - 3/32":ブリッジピックアップ、1/16":ネックピックアップ

J-BASS and P-BASS® - 3/32"

注意 - 1/16" = 0.062" = 1.6mm

3/32" = 0.093" = 2.4mm

アドバイス

- 音を出して、ピックアップごとに弦同士のバランスをチェックします。必要に応じてそれぞれのサイドを上げ下げして出力を同一にします。
- 音を出してピックアップ同士のバランスをチェックします。ピックアップの高さを上げ下げしてバランスを均一にします。

STRAT®の場合、低音減の音が均一でないときは、ピックアップが弦に近すぎる可能性があります。

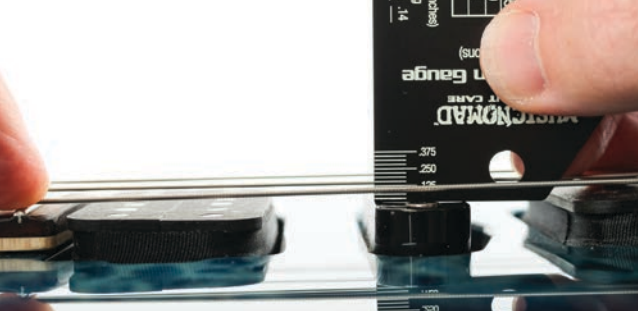
TELE®の場合、ネックピックアップの出力がブリッジピックアップより小さすぎるのがよくあるので、ブリッジピックアップをネックより低くして出力を均一にする必要があるかもしれません。

- 全体的に、力強い音が良く鳴り、弦同士のバランスが均一で、ピックアップ同士のバランスが取れているようにしてください。



ハウツービデオ

詳細およびハウツービデオに関しては、MusicNomadCare.comをご覧ください。



26ピース入りMusicNomadドライバー&レンチセット

- MusicNomadの**TheGuitarTracker.com**を活用してご自身のギターごとのセットアップデータを記録しておきましょう。
- **MusicNomadCare.com**では、ここで紹介した手順などに関する指導ビデオがご覧になれます。
- **当社について:**Music Nomad Equipment Careはギターのメンテナンスとミュージシャン個人への援助を実現したいという思いから、皆様の楽器を修復、維持、保護するプロ級の製品をお届けしています。世界中から才能あふれる人たちを呼び集め、ミュージシャンに最適な製品の開発に取り組んでいます。当社の製品が購入されるたびに、利益の一部は自動的に当社の還元イニシアチブを通して独立系ミュージシャンへの支援に充てられます。詳細は、**www.MusicNomadCare.com**をご覧ください。
- FENDER®、FLOYD ROSE®、GIBSON®、TUNE-O-MATIC®、STRAT®、HUMBUCKER®、TELECASTER®、J-BASS®、P-BASS®、およびその他すべてのサードパーティブランド名はそれぞれの所有者の商標です。Music Nomad LLCは、各所有者と提携関係にはありません。また、それらの商標の所有権を求めることもありません。

- 1 MusicNomad GRIPカッターを使ってすべての弦を外します。
- 2 MusicNomadラディアスゲージを使って、指板のラディアスを測定、記録します。記録データはセットアップ作業での弦高ラディアスを測定するときに使用します。
- 3 MusicNomadギターテックツールセットを使って、チューニングマシーンブッシュも含め、すべてのネジを締めます。
- 4 MusicNomad FRINEフレットポリッシュを使ってフレットを磨きます。
- 5 MusicNomad F-ONEオイルを使って指板をきれいにし、状態を整えます。
- 6 MusicNomadクリーナーズを使ってボディとネックをきれいにします。
- 7 MusicNomad GRIPワインダーを使って新しい弦を張ります。

これでセットアップを開始する準備ができました。

MUSICNOMAD™
EQUIPMENT CARE

www.MusicNomadCare.com